

臨床とウイルス投稿規定（平成30年6月一部改定）

1. 本会会員は誰でも投稿できる。共著の場合は共著者もすべて会員でなければならない。
ただし編集委員会から特集号として依頼した依頼原稿についてはこの限りではない。
2. 本誌は、臨床ウイルス学に関する領域での臨床的新知見、疫学的課題およびこれらとの関連のある論文、臨床ウイルス学会抄録、各関連研究会の報告、その他臨床ウイルス学の発展に寄与する原著、報告、総説、**症例報告**、研究技術、ノート、疫学ノート、資料等を掲載する。
3. 投稿原稿の採否は、査読者による査読の後、編集委員会において決定する。
4. 投稿原稿は、通常刷り上がり8頁を限度とし、1頁は約1600字に相当する。図表は1点400字相当とし上記を越えないものとする。
5. 投稿原稿の掲載の際、当該原稿の組版に要する費用は、3頁まで本会が負担する。また、3頁をこえる場合には1頁につき1万円を著者の負担とする。**図のカラー印刷は1点とする。**
6. 投稿原稿は掲載料が本会において受理された後に掲載するものとする。掲載料は著者に採用を通知した時点における印刷実費に基づき計算して著者に請求する。
別刷代は30部まで無料、越えるものについては実費を徴収する。30部を越える分については50部:15,000円、100部:20,000円とする。
受付順位にかかわらず至急に当該論文が掲載されることを希望する場合は、印刷その他の諸経費を著者が全額負担する。
7. 原稿の執筆要領は次のとおりとする。
 - 1) A4版1段。（本文数字は1桁は全角、2桁以上は半角）
 - 2) 表紙頁には日本語の表題、著者名、所属、別刷請求先および、英語に訳した表題、著者名、所属を明記する。主執筆者の所属、住所、電話番号、FAX番号、E-mail（許可をいただければ）を明記する。
 - 3) **400字の論文要旨とともに、250 words 以内の英文抄録をつけること。**
 - 4) 原稿は原則として日本文とする。ただし、図、表、写真の説明は英文で記載してもよい。
 - 5) 度量衡の単位はkg, g, mg, µg, m, cm, mm, l, dl, ml, g/dl, 等を持ちいる。本誌では、章節のはじめ方は、なるべく、1, 2..... ; 1), 2) ; i, ii の順にし、文中および図表の数字は通常アラビア数字（1, 2, 3,）を持ちいる。
 - 6) 外国人名や適当な日本語訳のない述語などは、原語を用いる。英語表記、もしくはローマ字を用いる。
 - 7) 図、表、および写真には図1、表1、写真1などの番号をつけ、本文とは別に添付する。英文表記の場合には Fig. 1, Table 1, Photo1 等の番号付けとする。
 - 8) 文献記載の様式
文献は本文の引用箇所（1）、（1-3）の番号で引用順に示す。
なお末尾文献表は論文中に引用されたものに限る。雑誌名の略記は医学中央雑誌および index medicine にしたがう。
略例：Acta Paediatr Jpn, Am J Epidemiol, Am J Med Sci, Int J Epidemiol, Jpn J Med Sci, Biol, JAMA, J Bacteriol, J Biol Stand, J Clin Immunol, J Immunol, J Infect Dis, J Med Microbiol, J Virol, 感染症誌, 小児診療, 日医師会誌, 日医新報, 日小児会誌, 臨床とウイルス。

雑誌の場合

欧文誌では著者名は、Family Name にひきつづき Initial をカンマなしで続ける。共著者は筆頭著者を含め3名までとしてそれ以上は邦文では他、欧文では et al. とする。共著者はすべてカンマで続き、and はつけない。

(1) Nagai T, Okafuji T, Miyazaki C, et al. :A comparative study of the incidence of aseptic meningitis in symptomatic natural mumps patients and monovalent mumps vaccine recipients in Japan. Vaccine 2007; 25: 2742-274.

- (2) Mohanty S, Joshi SR, Ueda I, et al.: Prolonged proinflammatory cytokine production in monocytes modulated by interleukin 10 after influenza vaccination in older adults. J Infect Dis 2015; 211: 1174-84.
- (3) 庵原俊昭、落合 仁：おたふくかぜワクチン：定期接種化への流れ。臨床とウイルス 2014; 42: 174-182.

単行本の場合

- (1) 木村三生夫，平山宗宏，堺春美編著：予防接種の手びき，第13版，近代出版，東京2011，pp. 2-590
- (2) Vidor E, Plotkin SA: Poliovirus vaccine-inactivated. In Vaccines, 6th Edition, Eds, Plotkin SA, Orenstein WA, Offit PA. Elsevier Saunders, 2013, pp573-597.

8. 原稿の送付および校正について

1) 依頼原稿、投稿原稿共に下記の査読委員、編集委員が査読を行うものとする。

1) **依頼原稿**は本文，図，表，写真，抄録などもふくめてE-mailで投稿する。

日本臨床ウイルス学会 臨床とウイルス

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9階

(株) 春恒社 学会事務局内 千葉紗織 宛

TEL: 03-6273-8202 (直通) Fax: 03-5291-2176

E-mail: editor_cl.virol@shunkosha.com

2) **投稿原稿**は封筒の表に『臨床とウイルス』と明記し，打ち出し原稿3部とメディア媒体(CDR)と共に下記宛てに書留で郵送する。

日本臨床ウイルス学会事務局

〒108-8641 東京都港区白金5-9-1

北里生命科学研究所 ウイルス感染制御Ⅱ 中山哲夫

TEL: 03-5791-6269 FAX: 03-5791-6130

E-mail: cl.virol@kitasato-u.ac.jp

9. その他、質問事項は

北里生命科学研究所 ウイルス感染制御Ⅰ

日本臨床ウイルス学会事務局 代表 中山哲夫

tetsuo-n@lisci.kitasato-u.ac.jp

TEL: 03-5791-6269

FAX: 03-5791-6130

E-mail: cl.virol@kitasato-u.ac.jp

編集委員；田中智之、中山哲夫、尾崎隆男、永淵正法、皆川洋子、森内浩幸、吉川哲史、多屋馨子
査読委員；牛島廣治、榮鶴義人、奥野良信、尾崎隆男、白木公康、田中智之、堤 裕幸、寺田喜平、
永淵正法、中山哲夫、沼崎 啓、細矢光亮、皆川洋子、森内浩幸、山田雅夫、吉川哲史、
竹田 誠、齋藤昭彦、多屋馨子